

# 岐大通 2010



## today's guest

### ファジアーノ岡山

2009 J2第18位  
J2通算対戦成績: 2勝1分0敗

#### 2009成績

- 第1節 09/05/09 岐阜 4-0岡山
- 第2節 09/06/21 岡山 0-0岐阜
- 第4節 09/11/08 岡山 0-2岐阜

## 2010J2 順位表 第1節

(#は消化試合が多い)  
勝点、得失点差、得点、失点、岐阜戦の戦績(岐阜から見て)

1	柏	39p	+22	29	7	H
2	甲府	33p	+14	28	14	H
3	千葉	30p	+15	28	13	A
4	福岡	26p	+13	26	13	A
5	栃木	26p	+10	20	10	A
6	鳥栖	25p	+1	20	19	A
7	徳島	23p	-1	21	22	A
8	熊本	23p	-4	13	17	A
9	大分	19p	0	22	22	A
10	愛媛	19p	-1	11	12	
#11	横浜FC	19p	-2	23	25	A
12	札幌	19p	-4	14	18	H
13	水戸	19p	-4	11	15	H
#14	岐阜	18p	-11	12	23	----
15	東京V	17p	+1	15	14	H
16	富山	13p	-13	17	30	H
17	岡山	12p	-11	7	18	
#18	北九州	10p	-11	7	18	A
19	草津	09p	-14	12	26	H

## 次回 HomeGame

第1節  
愛媛 FC戦

7/24(土) 18:00  
@長良川球技メドウ

## 投稿募集!

gidaidohr@hotmail.co.jp

F C 岐阜大好き通信(岐大通)  
6/12号  
編集発行:『岐大通』製作委員会  
今号の製作担当: ささたく & 吉田 鎗造

編集子より  
ご愛顧いただきありがとうございます。  
今シーズンは2年ぶりに「全ホームゲーム」での発行を目標にしますので、  
よろしくお願ひ致します。

## 正吾のループ一発で勝利! 岐阜 1-0水戸【第1節】

F C 岐阜は長良川で水戸と対戦し1対0で勝利。連敗は3でストップ。これから反撃だ! サポーター丸でF C 岐阜を応援しよう。F C 岐阜頑張れ!(ハマッチ)

連敗は阻止した。素直に喜びたいと思う。かし、ひねくれ者の筆者であるがゆえ、また、「高みを目指すなら」、課題について言及しない訳にはいかないだろう。前半は双方が決定機を作り、まさに「どちらに転んでもおかしくない展開」。水戸のGK本間の再三のファインセーブがなければとうに決着はついていただろうが...。しかし、岐阜はピンチのほとんどを自らの「自滅」から招いていた。速攻についていけず(それもボールの失い方が悪いためだが)、不用意にセットプレイを与えすぎた。「セットプレイは実力差は関係なくチャンスである」というのはこの競技の定説であるのに、例えば今回出場停止だった水戸のF吉原がいたら、抜群の精度を誇るプレイスキッカーがいたら、(勝負に「たら」「れば」は禁物とはいえ)失点を喫していた可能性はある。相手のシュートミスに助けられたのは一度や二度ではない。前半はスコアレスのまま終了。しかし、先制したのは岐阜だった。後半5分、ディフェンスの背後に抜け出した嶋田が角度のない位置から難しいシュートを決める。1-0。このまま勢いに乗るか、と思われたが流れを掌握し切れない。諸要因があるだろうが、筆者が一番印象に残っているシーンが、ハーフェーあたりでFをもらって、「早いリスタート」をしておきながら、受け手がボールコントロールミスして、相手ボールにしてしまった。「意思の疎通」「感じていなかった」など色々な事が言えようが、これでは早いリスタートをした意味がない。これに象徴されるように、中盤での(選手間の距離が3~5メートル)のショートパスの精度の悪さも感じた。中盤だから、人口密度は多いし、わずか1メートルでもパスがズレれば、すぐさま相手に奪われ、ひどい時には、即、カウンターを食らうことになる。どこぞの青いチームも課題に挙がることもあるが、「ただボールを回すのではなく、目的意識を持って、ボールを回さなければならない」ということになる。目的=ゴールということになるのだが。

課題が噴出するのは悪いことではない。しかし、とにもかくにも勝利を手に入れることができた。これは最高の良薬だ。また、ここ最近失点を重ねていたディフェンス陣も「完封」したことで、自信を持って次戦に臨めるはず。

(この試合の2日後のaikのライブチケとれんかったー(泣))

永芳のパスに、これ以上ないってタイミングで抜け出した正吾のループが、ゴール・ネットを揺らすまでの時間。草津戦以来の得点。その間、3試合無得点9失点。岐阜を応援している誰もが渴望していたゴールは、無得点だった時間をなぞるかのようになり、実にもったいつけてゴールに向かい、あまつさえ右ポストに当たった後、ゆっくりゴールネットにキスをした。電光石火のごとく、鮮やかに決まってくれば盛り上がるのに、こんなとこまで焦らさなくとも.....(笑)おかげで、ゴールが確定するまで今シーズンのいろんなことが、文字通り走馬灯のように思い起こされて、どうしようもなかったよ。この試合の、水戸GK本間はJ通算250試合を達成した経験豊かな選手。一昨年より去年。去年より今年と、年々安定感を増しているように思える存在感。ピハインドを背負ったアディショナル・タイムに得たCKには、自分のゴールを空けて攻撃に参加。最後まで、試合を盛り上げてくれた一人。いくつかの決定機を阻止してくれた堅守のGKから点を奪い、勝利の凱歌を上げるのはホントに気持ちがいいものだ。

だからこそ、今季はこのメドウで、むちゃくちゃ距離の近いこのスタジアムで、岐阜の選手を乗せて、支えて、盛り上げて、みんなの力で勝利を勝ち取り、歓喜の歌声でメドウをいっぱいにしたいものですね!(ぐん、)

得た物。「勝ち点3。」以上。中身があったとは言えないけど、今のチームには結果こそがプロセスを得るための唯一の薬なのかもしれません。水戸に吉原が居たらわかんなかったかもなあ.....吉原ならガチャを活かされたかもしれないです。

この試合、永芳がMOMでしたがメインスタンドの僕の周囲から大エーイングが発生してました。アシストは確かにそうだったかもしれないけど、それ以外は.....ってみんな感じたが故のエーイングだったんじゃないでしょうか。

そりゃ本人からすれば面白くなかったかもしれない。けどそれは観客の期待の表れと受け取って欲しいのです。「もっとやれるだろ?」もっとやれる選手だと僕は思ってます。(ジュニア)

# ALADDIN

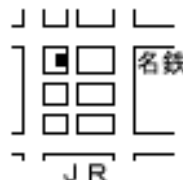
何も無い店だけど...  
心の花が咲く...  
何も無い店だけど...  
心癒される...  
忘れかけていた喫茶店がある

岐阜市昭和町3丁目(木ノ本公園東)

「いらっしやいませ」より  
「おかえりなさい」が似合う  
アットホームな韓国料理店。

『チヂミ屋』は  
JR岐阜・名鉄岐阜駅  
から徒歩3分。

休:日曜日  
(今日は営業しています)





## 勢いの.....だけではない『差』があった。 栃木 2-0 岐阜【第 15 節】

FC 岐阜はアウェイで栃木と対戦し 0 対 2 で敗戦。連敗を 3 でストップしたのに続けて勝てないのは FC 岐阜の弱さ。何とか挽回を！サポーター丸で FC 岐阜を応援しよう。FC 岐阜頑張れ！（ハマッチ）

絶対に前半で仕留めなければいけない岐阜と栃木の出来の差がありました。結局ツメが甘い故に生き返った栃木に押し切られた。この試合、押谷が帯同していたけどフランス帰りの疲労とバス遠征の疲労がダブルパンチで来たせいか向こうでダウンして試合欠場って憂き目に遭いました。これは押谷の責任よりも帯同させた倉田さんの責任の大きいと考えます。おそらく試合後のインタビューはこの事を指してたんでしょう。基棟は怪我と聞いてましたがも俊慶も怪我だったのか？水戸戦でベンチに入れたサイモンはダメだったのか？そこまで彼らは要求するレベルにないのか？本当の意味で FC 岐阜はチームになっているのか？と疑ってたくらいでした。

結局押谷は横浜戦も欠場。結果論だけど栃木戦は自重すれば横浜戦は出れたのでは？って i の話も出てきます。残された選手達は発奮しなきゃ嘘ですよ。これでも出れないのであれば.....ですもん。アクシデントはチームには痛いけどリメインにはチャンスなんです。（ジュニア）

うーん、あのセリフはもしかしたら魔法の呪文か？と思うような試合内容。選手たちも何回か耳にするうちに、刷り込まれてしまったのだろうか？

もちろん、「前半はよかった」というセリフのことだ。いや、本当に前半は悪くなかった。というより、「悪いところがなかった。」ただ、点が入らなかつただけ。栃木がここ何試合か負け知らずで、何試合か無失点というのが信じられないような出来。でも、あの内容で失点しないところに今の順位が付いてきているのかもしれない。それでも、今季の栃木はむしろ守備より攻撃。JAGS のダイジェストで見た得点シーンが印象に残る。ペナルティ・エリア手前から、3 人くらいがワンタッチのパス交換でゴールを陥れた場面。利き足じゃない方のアウトサイドで、ラストパスを演出したのはアノ男。やっぱり、敵に回すと危険な選手だね。阪本もよくやっているけど、もっともっと経験を積んで成長してほしい。前半の決定機。パスの選択肢は和範だったけど、左サイドは見てたのかな？あそこはちょっと惜しかった。それでも、今季の栃木戦は幸い(?) 2 試合残っている。天皇杯も含めて、会場はいずれもメドウ。やはり、ホームでは負けたくない。きっちりノシをつけて倍返しにしてやるうっ！（ぐん、）

## 戻せる部分と、戻せない部分。 横浜 FC2-0 岐阜【第 16 節】

FC 岐阜はアウェイで横浜 FC と対戦し 0 対 2 で敗戦。なかなか上昇気流に乗れない苦しい展開。今こそサポーターが FC 岐阜の応援を。FC 岐阜頑張れ！（ハマッチ）

この試合、とうとう倉田さんも根負けしたか今までガンとしてしなかった秋田 SB を後半から敢行しました。橋本も気がつけば永芳と入れ替わりを見せてたし昨年バージョンに限りなく近づいた布陣になってました。菅も倉田さんも試合後に手応えを口にしていたし、サポーターも同じ感想だったでしょう。けど決定的なパーツがない。「高木和正」だ。客観的に見て今の永芳は高木和正のレベルに達してない。キープ、ドリブル、パスの視野。唯一勝るのはキックの精度か。従って、布陣を元に戻すだけでは昨年のサッカーの再現は出来ない。松永さんと倉田さんでは守備の仕方違うのだから。それでも選手が一番活躍するポジションにつく事で良かった時のイメージを思い出せば共有できれば、今の戦術でも生きるのではないかと思います。松永さんのやり方だけでは限界があったのも事実です。そのきっかけになるのならこの敗戦は決して無駄にはならないのでは？と思います。（ジュニア）

この試合に限った事ではないのですが、決定機を決められない。先制されたら必ずと言っていい程負ける。一回負けると必ず連敗しますね。経験不足とか個人能力の差とか厳しい状況の中で良くやっていると思いますし、ひたむきさは伝わってきましたが、今回「しっかりしろよ！頼むわ！」と言いました。なかなか結果が出なくて苦しいだろうとは思っていますが、言わずにいられませんでした。（プラウ@翠魂）

1 2 対 6。シュート数がそのまま得点差に現れた、といえなくもないが後半のウチは 4 本程度しかシュート撃っていなかったっけ？ 0 - 2 となって、横浜に余裕ができたのか、疲れたのかはわからないが、前半がウソのようにペナルティ・エリアの中まで進入し決定的な場面を見せてはくれたが、唯一ゴール・ネットを揺らした場面もオフサイドの判定。2 試合続けての 0 - 2 完封負けとなってしまった。ただ、現地で見ただけでは負けるべくして負けた試合。あそこで枠に入れないようでは、ゴールはおぼつかない。正吾のボレーも、ソメのシュートも。前半の冨一も利き足の右に持ち替えた分 GK に詰められたのももったいなかった。とはいえ、前半はほぼ横浜に支配されたワンサイド・ゲーム。よく 1 点だけですんだな...、という流れ。相手に助けられてでも無失点で後半に入れてたら...は虫が良すぎる（苦笑）。試合を通じて、大黒は別格の動きと存在感を示していたね。

それにしても、「前半はよかった」栃木戦。「後半がよかった」横浜戦。90 分プラスを懸命に闘っているのはわかっている。だからこそ、よけいにもったいないと思うのだ。今日の岡山戦が終われば、他クラブより一週間長いインターバルが訪れる。振り返ってみれば、「和正の抜けた穴がふさぎきれてない」という思いが強く残る前半戦だった。それでも、今から昨年の戦術に戻したところで、ボールのキープ、気の利いた球出しがない現状では、昨年と同様の結果は得られないだろうとも思う。この長い中断期間を有効に生かし、さらに戦術の共通理解と技術の向上に努めてほしい。鮮やかでなくともいい。泥臭くともいい。だけど、したたかに力強く。そんな闘う集団への脱皮を期待している。（ぐん、）

残念ながら、0 - 2 で敗戦。1 点目の大黒のヘッドはこれはもう相手を褒めるしかないなど。役者が完全に 1 枚上だった。後半選手交代でサイドからの攻撃が活性化されたのは好材料。頑張ってる野垣内には申し訳ないけれど、やはり秋田は SB、秀人は CB そして橋本は真ん中で使ってもらいたいなあ。昨年の陣形に近い形のほうがやはり選手個々の持ち味が出せるような気がする。あとゾーンディフェンスはやっぱりこのまま続けるのかな？残念ながらここまでの戦いを見る限り完全にモノにするには至っていない気がする。試合中にゾーンでの守り方をこなすのが精一杯で、うまく攻撃に繋がっていかない悪循環になっていると思う。もう一度この先どうすべきか選手同士、選手とスタッフ間でじっくりと話し合いを持ってもらいたいと思う。

今日の岡山戦で約 1 ヶ月強の中断期間に入る。ここまで疲労の蓄積している選手も多いと思うので、しっかり休養してリフレッシュして中断明けの戦いに備えてもらいたい。昨年は夏場の暑い時期に他所のチームがややバテているときに、走って走りまくってホーム戦で勝ち星を積み重ねてきた。今年は何か走りまくるというシーンが少なくてなんだか物足りない感じもする。中断期間中に体力強化して、また昨年のような夏に強い FC 岐阜の試合が見たいものである。シーズンはまだ折り返し地点。選手の皆さんの頑張りさとチームの巻き返しに期待しています！（岐阜の誇り）

## 【U-18】2 次予選で敗退も、 経験を積んで上を目指せ！

FC 岐阜ユース U - 18 は 5 月 30 日静岡県磐田市で行われた日本クラブユースサッカー選手権 (U - 18) 大会 2 次予選に参戦しました。相手は 1 次予選リーグを全勝で突破した愛知 FC (岐阜も 0 対 3 で敗戦)。過去に何度も全国大会に出場し、又 J リーグの選手を何人も排出している強豪です。試合は開始から愛知 FC に攻め込まれる時間帯が多かったのですが、岐阜の選手も気持ちを切らさず失点を防ぎます。逆に岐阜も何度かチャンスを得て攻め込みましたが決め切れず、0 対 0 のまま延長戦に突入。延長戦でも一進一退の試合展開でしたが、両チーム共に得点出来ず。結局 PK 戦で岐阜は敗戦しました。もう一步の所で上に勝ち進める試合を落としてしまった彼ら。この日の試合での経験もきっと彼らの今後の「力」となるでしょう。頑張れよ！緑の若者達よ！（シュナ）

Living in Woods

本庄工業株式会社

<http://www.honjp-woodream.com/>